

News

どうなる、どうするナイト10! 電力メニュー検討上の注意点

2020年4月に自由料金プランに変更されてしまっ
たナイト10を含む時間帯別契約は、第88号で懸念
した通り、燃料調整費単価(/kWh)は¥12.99と今年1
月にピークとなった。政府の激変緩和措置により、
2月は¥6.04と大幅に軽減されたが、上限単価に規
制のある従量電灯Bと比べると¥7.91も高く、燃料
費高騰は落ち着きつつあるが、電力の使用状況に
よるがナイト10の方が割高となる傾向は続く。6月
に予定されている値上げにより、規制電力メニュー
との格差は是正されるが、電力会社の申請通りの
値上げ額、時期が認められるかは不透明である。

今後も時間帯別契約が割高となるケースがあり
、出来れば1年間分の各月の昼と夜の電力割合を
確認することを強くお勧めする。昼の定義はナイト
10の場合、AM8時～PM10時となり、電力メニュー
に応じた確認が必要だ。表1はナイト10の内訳の
例である。昼間率は、(合計値-夜間)/合計値で求
められる。例では昼間率=(791-534)/791=32.5%と
なる。従量電灯B 40A契約と同等の電力料金とな

表1 ナイト10 請求金額内訳例

料金項目	単価	kVA/kW/kWh	金額(円)
基本料金			1,320
電力量料金			26,289
・1段料金	24.01	80	1,920.80
・2段料金	31.99	120	3,838.80
・3段料金	36.94	57	2,105.58
・夜間時間	15.26	534	8,148.84
・燃料調整額	12.99	791	10,275.09
再エネ発電賦課金	3.45	791	2,728
電気料金計			30,337

夜間

合計値

なる目安は60%(ナイト8は67%、電化上手は昼21%
、朝夕40%)程度で、年間を通じて目安を上回る昼
間率の場合には、従量電灯Bへの契約変更の検
討余地が大いにある。一般的に家庭の消費電力
は日没後からがピークと傾向があり、夜間電力給
湯設備を導入していないご家庭は要チェックだ。

ご存じのようにナイト10などの従来メニューは、
変更すると元には戻せず、慎重な検討が必要であ
るので、検討上の注意点について紹介する。

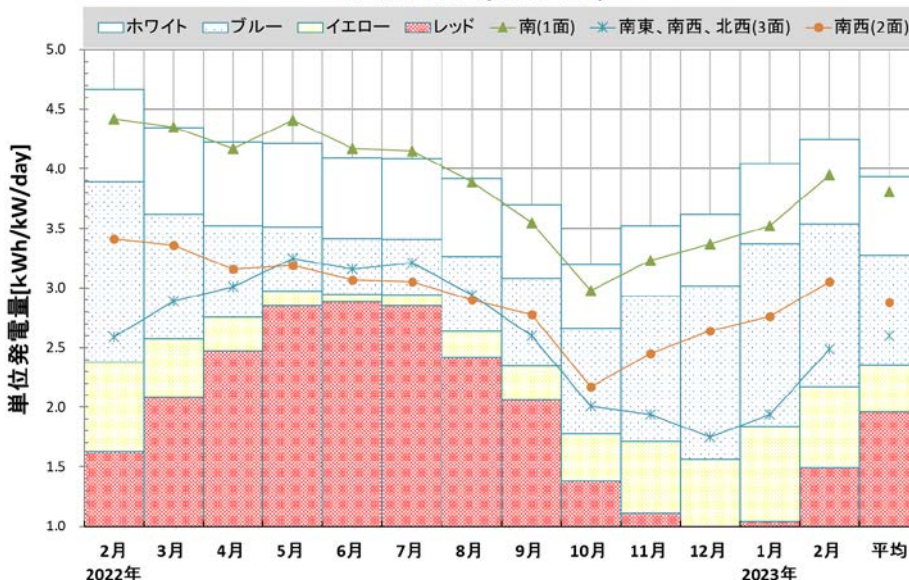
前述の目安は40A契約との比較であり、50A契約
では¥286、60A契約では¥572基本料金が上がり、
60A契約との比較では昼間率70%程度が目安とな
る。A(アンペア)数は、同時に使用する電気機器に
依存し、瞬間的な電流値が契約アンペア数を上回
るとブレーカが落ち停電となる。エコキュートなど
は20A、IHコンロは20A～30A程度が一般的な目安
とされるので、オール電化の家庭が従量電灯Bに
した場合、60A契約が推奨される。但し、スマートメ
ータに切り替えられている場合、仮にブレーカが落
ちても、昔のように懐中電灯をもってブレーカを探
す必要はなく、10秒程度で自動復帰するので、節
約優先で使い方工夫するという考え方もできる。

また、卒FITのユーザは、従量電灯Bに契約変更
し、エコキュートを昼間稼働させると売電よりも経
済効果が高められる可能性があるが、昼の時間に
湯沸しのタイマー設定ができない機種があるので
、必ず契約変更前に、ご自宅の給湯機の機能確
認をしていただきたい。

この電力費高騰を機会に、ぜひ昼と夜の使用量
をチェックし、あらためて電力消費について考えて
みてはいかがでしょうか。(古峰記)

今月の単位発電量!

EPC近隣比較法(横浜基準)



単位発電量とは、1kWあたり、1日あたりの平均発電量です。毎月の発電量[kWh]を設備容量[kW]と日数で割ってください。

平均は直近12か月の単位発電量です。一般的に単位発電量は、ブルーの範囲になることが期待されます。北西など、やや北向きがある発電所はイエローになることもあります。レッドが続く場合は、メーカーなどに相談することをお勧めします。

※近年の太陽光システムは均質化や効率改善が進み、2000年初頭の物に比べ、実発電量が10%以上多くなることもあるので、補足としてホワイトを設けました。

世話人から

連絡事項

2月1日～3日に開催された「第17回再生可能エネルギー世界展示会 & フォーラム」にPV-Netは出展しました。

その時の資料は以下のリンクからダウンロードできますので、ご覧ください。

<http://www.greenenergy.jp/5348>

今後の予定

「かながわ環境教室」

2023年度も、かながわ環境教室(出前授業)に講師申請しました。授業テーマは、

「ストップ地球温暖化!
～太陽光発電って何～

(2050年カーボンニュートラルを目指す)」です。横浜市のYES出前講座にも同様のテーマで申請しており、共に多くの依頼が来ることを期待しています。

「出前発電所をつくろう!」 ワークショップ第36回

日時: 6月4日(日) 13:20-16:30

会場: かるがも3F(星川駅)
(企画中!)



2月の横浜では、気温は平年より1.2℃高く、日照時間は、ここ数年では短めで発電量は昨年と比べると少なく感じるとは思います。平年値の日照時間は少し上回っています。気象庁によると2月は、「北日本では冬型の気圧配置となる時期があり、北日本太平洋側の月間日照時間は多かったが、東・西日本と沖縄・奄美では高気圧と低気圧が交互に通過して天気は数日の周期で変化し、冬型の気圧配置となりにかったため、東日本日本海側の月降水量は少なく、月間日照時間は多かった。また、月降雪量は西日本日本海側でかなり少なく、東日本日本海側で少なかった。東・西日本と沖縄などでは月の前半を中心に寒気の影響が弱く、沖縄・奄美を中心に暖かい空気が流れ込みやすい時期もあったため、月平均気温は東・西日本と沖縄・奄美で高かった。」

